

<%name%>さま

いつもお読みいただきありがとうございます。

西です。

今日は 8/29（木）。

リアルタイムでメルマガを配信するのは
お久しぶりになります。

このメルマガも運営開始から 5 年以上が経ってますけど、
日々いろんなメッセージをいただいています。

最近はずすぎに多すぎて全部に返信できなくて
申し訳ないんですけど、

いただいたメッセージは全部読んでますので
気が向いたらメッセージ頂けると今後のメルマガ運営に
生かせるので、ぜひぜひよろしくお願いします。

で、ついこの間のことですけど、

「西さんが最近面白いと思っていることは何ですか？」

というメッセージを読者の方よりいただいて、

それについて、個人的にホントにいろんなことを思うので、
いろんな面白いことがあるなあと思うので、

今日はそんなテーマでメルマガ書いていきたいともいます。

もちろん、今必死に資格試験の勉強を頑張っている人にとって、

“関係ありまくり”

の話しです。

■未来はどうか？

もういきなりですけど、僕が最近（に限った話でもないですけど）
大きな興味を持ってるのは、

“未来”

についてです。

「いや～、今が必死なんで未来のことなんて考えらんないですよ～」

っていう人もいると思うんですけど、
そういう人ほど、5年後10年後に損をしている可能性が
高いんだって話なので、

実はそういう人ほど知っとかなきゃいけない、
考えなきゃいけないことなんですけど、

“未来”ってどうなると思います？

最近よく言われているのは、技術革新ですよ。

AIとかIoTとかブロックチェーンとか5Gとか、
いろんな技術革新が加速度的に進化して行って、

人間社会の在り方とか、
人々の生活とか、絶対変わるよ。

って聞きますよね？

それは僕も個人的に、ほぼ100%そうなると思ってて、

もう今って、ほとんどの人がスマホ手放せない

生活になっちゃってますよね。

なんかわからないことがあったら、
いつでもスマホで検索すれば答えが出てくるから
わりとすぐに調べますよね？

誰でもいつでも世界から情報が受け取れて、
誰でもいつでも世界へ情報が発信できる。

それが良いか悪いかは置いといて、実際そうなる。

そういう時代。

確実に世界は変わっていったるんですよ。

つい20年前くらいじゃ考えもしなかったことが、
今現実になってる。

じゃあ、今思いもしないようなことが、
20年後は当たり前になってもおかしくないわけですよね。当然。

メディアでも、

“あと10年で消える職業”

っていうのが一時期話題になってたり、

あと20年で人間の仕事の半分は機械に置き換わるよ、

なんてのも言われてたりしますよね。

実際、技術革新によってなくなる仕事っていうのも
今後10年20年でたくさんあると思います。

僕の近所のコンビニも、

実験的に深夜時間帯を「無人営業」にして
入店時に自動認証、会計はセルフレジになってました。

あと、洋服屋さんの GU はすごかったですね。

買い物かごにテキトーに買いたい服を入れて、
謎の機械に服を入れたら、自動で商品が認証されて
あとはその機械で会計をするだけ、

っていう自動システムも、実際使ってみて、

「こんなぐしゃぐしゃに入れてもちゃんと正確に認証できるんだ!？」

と、ちょっと個人的にビビりました（苦笑）

極めつけは、AmazonGo。

僕はまだ使ったことはないんだけど、
あれはもうレジすらなくて、認証して入店したら
もう商品を手にとってカバンに詰めてそのまま店を出たら
事前に登録してあるカードから自動で決済が完了している

っていう、もうレジすら存在しない買い物システム。

マジで、どんどん技術が進化するし
今まで人がやってた仕事がどんどん機械でもできるようになっていってます。

あと、「自動運転技術」が完成すれば、
ドライバーは要らなくなるから、

トラック運転手、タクシー運転手なんかの仕事は
人間がやる必要がなくなるっていうのもよく言われますよね。

それが何十年後になるかは、まだまだ分からないけど
技術としては確実にその方向へ向かっています。

だからもし、僕の子どもが

「将来、トラックの運転手になりたいんだ！」

なんて言い出したら、

「う〜ん、大人になったころにはその仕事無いかもヨ？」

って教えてあげないと、子どもにとっては困るわけです。

未来の社会がどうなっているか？

によって、“今やっておくべきこと”というのは大きく変わるわけですからね。

だから、未来を知ることが僕自身のためでもあるし、子どもの教育のためでもあるんですよね。

いま一生懸命子どもを教育して、
いろんなこと教えて、難しい算数とか、プログラミングとか
いろいろやらせたんだけど、

その子が大人になったとき、
その学んだことが“役に立つ社会”じゃないと意味がないわけです。

「それ、もう要らないね。だってAIが全部やってくれるんだも〜ん。」

っていう社会が到来したら、
えっ、今までの教育なんだったの？ってなっちゃいますよね。

極端な話ですけど。

よく、

“日本の義務教育は優秀な雇われ労働者を育てるためのもの”

っていうことで一部で批判されたり、
まあ僕もメルマガとかでいろいろと批判してんだけど、

もしかしたら 20 年後の将来、

“雇用”

っていうシステムが、「えっ、古くさっ」って
なってるかもしれないですよ。

いずれロボットとか AI に置き換わるんだけど、
まだ技術が実用化されていないから、

“今は仕方なく人を雇ってるだけで”

誰でもできる仕事だし、代わりがきくし、
いつなくなるかもわかんないから不安定だよ〜、雇用って。

なんていうのが当たり前認識になってるかもしれない。

(というか、僕は個人的にはそういう認識なんだけど)

個人的に「雇用」っていう形態は将来的に
大きく二極化すると思っています。

Google みたいに、時代をけん引するような超優秀な企業が
超優秀な人を社内に置きたいから人を「雇う」みたいなパターンか、

誰でもできる仕事で今は機械に置き換えられないから
仕方なく人を「雇う」というパターン。

このどちらか。

言うまでもなく、前者に入ろうとするなら
世界でもトップクラスの教育と競争を勝ち抜く必要があるので
そうとう険しい道になるでしょう。

そんな中、現在のような物差しで測っている
“優秀な雇われ労働者を育てる教育”って必要ですか？

って思っちゃいますよね。

だからこそ、将来、

“人間に求められるのは何なのか？”

っていうのを考える必要があるわけです。

もうそんな果てしなく遠いことじゃないですからね。

10年20年って、そんなに遠くはないです。

でも大きく社会が変わってます。確実に。

だからこそ、未来を考えるっていうのは
僕の中でものすごい興味の対象だし、

人の仕事がなくなる、っていうと
なんだかすごいネガティブに聞こえてしまうけど、

逆に言えば、機械にできることが“圧倒的に”増える
ってことですからね。

いま人間がやってることは機械に置き換わるかもしれないけど、

機械にできることが増えるんだったら、
いまじゃ考えられないようなことも、将来たくさんできるようになるし、

実現したら、人間の生活ってめちゃくちゃ便利になりますよね。

スマホでワンボタンでタクシー呼んだら、
数分で横浜の自宅前に来てくれて、

車の中で一晩寝てたら、もう目的地の福岡の実家の前についてます。

なんていう社会になってたらスゴイ便利ですよ〜。

運転しなくていいし、公共の交通機関まで移動しなくてもいい。

家から出て、乗って、寝るだけ。

はい、到着。

人件費もかからないから超格安です。

と、これは一例ですけど、
こんな感じで社会はどんどん便利になる方向に進んでます。

その便利になった社会の中で、

“自分はどのような生き方をしようかな”

なんて考えるのが、いま僕は面白いですね。

毎晩、寝るたびにいろんな目的地に行けるって、
感覚的にはちょっとした「どこでもドア」みたいですよ（笑）

一瞬じゃないけど、夜寝て朝起きたら、目的地って。

そういうのが実現するなら、
それができるからこそ実現できるサービスって何だろう？

とか考えると、またそこから派生して
いろんなサービスが生まれそうですよね。

文字通り、今じゃ考えもしないようなことが、
普通になってる未来。

実際いま、僕がやっている生き方っていうのも、
「インターネット」という技術が当たり前で普及しているからこそ
実現できているわけですね。

5年前までは普通に会社員でしたけど、

「インターネットがあって、自分でも世間に情報発信できるんだから
自分で教材とか作ってネット上で販売すれば、それも仕事にできるじゃん」

っていうところから始まって、

会社やめて個人事業として開業したわけですけど、
これっていうのも“インターネット”という技術の進歩があったからこそ
実現しているわけです。

ひとつインターネットという時代の波に乗ったからこそ、
こういう生き方ができるようになったわけで、
僕は今現在めちゃくちゃ満足しています。

でも、時代の波に乗ることなく
5年前のままずっと雇われを続けてたら相当キツイだろうなとも思います。

(実際その会社、僕が辞めた1年後に過去最大クラスの経営赤字で
社員を大量リストラしてますからね。)

今後も、契約関係を問わず、
正社員だろうが契約社員だろうが派遣社員だろうが、

「雇われ」

というのはどんどん辛くなってくると僕は思ってます。

それは、金銭面のことだけじゃなくて、生き方として
辛くなってくる。

嫌でも会社に行かなきゃいけないし、
行ったら行ったで、嫌な人と付き合わなきゃいけない。

現に、仕事で精神的な病気になって長期休業です、なんて事例は
山ほどありますよね。

で、逃げられる場所を見つけて、
実際にそこへ逃げ込む、そしてそこで生活ができる、

ということ自分でできない限り、
どんなに病気で休業したからと言って、

“またそこに戻らなきゃいけない”

ってなると、相当キツイですよ。
(そんなん治るもんも治らないですよ。)

僕はそこから自力で逃げ出したけど、
逃げ出したからこそ言えることもあるし、
見えることもあるし、感じることも沢山ある。

「雇われ」がどんどん辛くなる、
ってというのは、絶対にそうなる、という確信が僕にはあって、

人が感じる幸せ度合いって、絶対的なものじゃなくて
相対的なものなんですよ。

つまり、誰かと比べたときに自分はどうか。

という基準でしか、人は何かを実感できないわけです。

で、その「誰か」というのが身近な人です。

親とか、兄弟とか、学生時代の同級生とか、
職場の人とか、

そういう「誰か」と比べて、自分は有利なのか不利なのか、

有利だとちょっと誇らしくなるし、
不利だとちょっと妬ましい気持ちになってしまう。

頭では「人は人、自分は自分」と思っても、
心の奥では気持ちが違うわけですよ。人間だから。

僕みたいに、誰にも雇われずに
自分で自由に仕事して生活してる、って人は確実に増えてます。

これからもどんどん増えます。絶対に。

今はまだ、そういう人の数は少ないので、
普通の人の周りにも「そういう人いるよね」くらいのレベルなんだけど、

どんどん増えて、

どんどん増えて、

自分の知り合い、もう半分くらいそんな感じになっちゃってんですけど!?

ってなるのはそんな遠い未来じゃない。

「オレ気が向いた時にしか働かないからね」
「もう好きなことしかやらないようにしたんだよね」

なんて、世間ナメ腐ったこと言ってるようなやつが
普通のサラリーマンの何倍も稼いでたりしたら、

そして自分の身近にそんな奴らがたくさん現れてきたら、

果たして自分はどう思うてしまうだろうか、ってことです。

ほとんどの人は、間違いなく「不幸」を感じると思います。

隣のアイツら、ろくに仕事もしてない（ように見える）のに
自分より稼ぎが多い。こんな社会はおかしいだろ。

と、憤りをず〜っと抱えたまま、毎日どこかへ出勤していく。。。

これが、時代の波に乗った人と
乗れなかった人の大きな差になる。

技術が発達して人の仕事が機械に置き換わって
今の仕事の半分が無くなっていくんだって言われていますけど、

その流れとこれは、同時に進んでいくと僕は思っています。

だって、今ある仕事がどんどん機械に置き換わって
無くなっていくんですよ。

じゃあ人間は何やるの？ってなりますよね？

これからの時代、
仕事は与えられるものでも探すものでもなくなって

“創り出す”

時代になる、ってよくビジネス書や自己啓発書なんかでも
言われたりしていますけど、

これには、上記のような背景があるからです。

創り出さなきゃ辛い時代になるんだってこと。

で、創り出せる環境は技術によって整っている。

これからもどんどん整っていく。

そんな時代がやってくるんだな、っていうのを
僕は実感しています。

その時に、今自分ができることはなんなの？

子どもに今教えられることはなんなの？

少なくとも、あとちょっと技術が進歩したら

「その仕事機械でもできるようになるんじゃない？」

ってことを、一生懸命いま教育しようとはしないですね。

機械が進化しても、人間じゃないとできないことは何だろう？

もっともっと思考を進めて、

“自分じゃないと”

できないことって、何なんだろう？

時代の流れが激しいとき、流されてたら溺れますが、
波に乗る技術を手に入れれば、楽しくサーフィンができるかもしれない。

・・・そんなことを考えるのが今の僕の楽しみですかね（笑）

さて、未来は確実に変わります。

その未来を楽しく思い通りに生きたいから、

“今を頑張るんだ”

だから勉強して資格を取って、新しいことに挑戦する。

そういう気持ちって、すごい大事です。

それが無い人に明るい未来はやってきません。

でも、そこで終わっちゃダメっていうのも事実です。

資格さえ取れば明るい未来がやってくる時代はとっくに終わってます。
(そんな時代があったのかどうかは僕は知らないけれども)

資格を持っているだけの人は山ほどいるから。

資格っていうのは、本質的には取ってからがスタートだと僕は思います。

その資格を取って、それを自分の生き方にどう生かしていくのか？

そして、時代が進む中で、どういう活かし方ができるのか？

それは誰も教えてはくれません。

だからこそ“自分で考える”必要がある。

既に技術は進んでいます。
個人でできることたくさん増えてます。

これから先も、どんどん増えます。

その中で、資格を取って自分ができることを増やしていった先に、
技術的にできることがたくさん増えていった先に、

他の誰でもない、自分じゃないとできないことを創り出せるかどうか。

そこにかかっている。

欲しい難関資格。

絶対取ろう。

そこから未来は開けていくと思うから。

ではでは、真夏の猛暑を思い出すような暑さで
語ってしまいましたが（汗）

今日のメルマガは以上になります。

最後までお読みいただきありがとうございました！

西